

松本市議会議員

吉村幸代

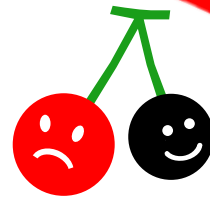
の活動レポート

第16号(令和元年度総集号)

よし むら さち よ

発行 吉村幸代後援会

〒399-0025 長野県松本市寿台9丁目4-1
Tel & Fax 0263 (58) 0201
E-mail sachiyo_kun@ybb.ne.jp
URL http://yoshimura-sachiyo.jp/



2020年4月発行



経済地域委員長として活動

おかげさまで2期目!

きっちり働きます!

令和元年5月、新しい時代の幕開けと同時に、私の議員2期目がスタートしました。選挙戦で思うように票数を獲得することができなかつたので、複雑な心境の門出でした。1期目の4年間というもの、それは裏面に活動してきたつもりはただけに、です。

松本市議会には、総務・教育民生・経済地域・建設環境の4常任委員会があり、経済地域委員会は、商工観光部、農林部、地域づくり部、農業委員会を所管します。

委員長とは、委員会の議事を整理し秩序を保持する役割ですが、商工会議所や農業委員会関係の行事に招かれる機会も多く、多忙を極めます。他市からみえる行政視察団の対応役なども務めます。

今年度は、中心市街地活性化に関する調査研究にも励んでまいりました。「商都まつもとトライアングル」が輝き続けるためにと題し、16年ぶりに交代した新市長に政策提言します。いつの間か、すっかり元気な吉村幸代に戻りました。

「皆様方のお陰で当選できたのだから、必ず頑張るぞ」と頑張らねば「五分かつは」は、このおかげ、身体に力が入りません。用事を済ませると家路を急ぎ、帰宅すると横になり、横になるともつ起き上がれないという日々が続きました。

一方で、周囲の状況は動いていました。改選と同時に会派再編の動きが活発化、私は最大会派「開明」の一員として活動する決意を固めました。そして、経済地域委員長の大役も任せられました。



▲ 令和2年1月 松本商工会議所の新年会で三本締め
経済地域委員長として、松本ぼんぼんや市民祭、あめ市など、商都を彩る行事にお招きいただいた1年間でした。

9月定例会 令和元年9月9日(月) 登壇日は、重陽の節句。「菊=特別な花」は日本の文化!

1. 国宝松本城について

(1)観光客を迎える場内の整備 (2)売店の魅力向上 (3)城下町を彩る秋の花「菊」

2. 児童遊園・簡易児童遊園について

(1)日常の管理業務 (2)遊具の維持・更新・撤去 (3)公園の適正化

3. 松本市立病院について

(1)経営改革の進捗状況 (2)建設候補地選定・取得と宮地エンジニアリング(株)松本工場跡地
(3)新病院建設の展望

4. まつもと市民芸術館について

(1)大規模改修 (2)基本目標と課題 ①高い水準の芸術文化の鑑賞 ②市民の芸術文化創造
③まち全体の賑わいと文化の潤い
(3)芸術館の運営と方向性および本市の文化政策に関する市長の思い



菅谷市長の残りの任期中(半年間)に決着をつけていただきたい案件を質しました。国宝松本城の売店は教育部の所管ですが、無理があるのではと感じます。児童遊園・簡易児童遊園は、子どもが減って使用頻度が下がっていることから、同じ経費を使うなら、市民にとって役立つ公園へと機能転換する必要があります。市立病院の経営改革は進んでいるのでしょうか、建設用地は一体どうなっているのでしょうか。市民芸術館問題は、菅谷市長の16年前の選挙公約だったはず。何か改善されたのでしょうか。

令和元年度の一般質問 in 定例議会

12月定例会 令和元年12月11日(水) 農業委員会提出の意見書に感ずることあり、奮起!

1. 農業・農村の存続について

(1)都市計画区域の現状と直面する課題 (2)中山間地におけるコミュニティの存続
(3)市街化調整区域における土地・建物規制のあり方 (4)持続可能な農業・農村を目指して



松本市農業委員会は、市街化調整区域における土地・建物規制の緩和を求めています。農業・農地の番人たる農業委員会が、ここまでの意見書を提出したのです。状況は深刻と察しました。中山や内田、入山辺などの中山間地は人口減少が著しく、農業のみならずコミュニティの存続自体が危ぶまれます。現在の規制だけを残してコンパクトシティ化を進めていくと、結果的に中山間地切り捨てに繋がるのではないのでしょうか。農業・農村を守らなければなりません。ねじり鉢巻きで法令を学び、超難問に挑みました。

質問の手応え (令和元年度)



松本市立病院に病院事業管理者設置

よかったね!

経営不振が続く市立病院には、事業管理者が必要と訴えてきました。これまで「市長が代行」とされていましたが、激務の市長では無理があります。事業管理者がいれば、ここまでの経営悪化は防げたかも。12月定例会で条例改正、3月1日付で北野喜良先生(前まつもと医療センター院長)が着任されました。

宮地エンジニアリング(株)松本工場跡地の取得交渉決裂

やっぱりね!

「松本市が責任をもって決める」と市が断言してから3年余り。「広すぎる・高すぎる・汚染されている」土地の取得に警鐘を鳴らし続け、上記9月議会では「宮地跡地にこだわるのは不自然。かえって病院建設のハードルを上げている」と訴えました。市長・副市長・病院局長・事務長の退任を1週間後に控えた3月19日(木)に全議員が招集され、「売買契約の成立困難」がようやく報告されました。平成29年秋から医療問題を勉強して取り組んでいますが、概ね賛成の潮流の中、最初の一石を投じるのは大変でした。

情に棹とせば

2期目の当選を果たし得た春は、早々と暑い季節であった。このまま長い夏が始まるのかと戸惑う中、6月定例議会が開会し、新人議員の多くが初登壇した。

5年前の市議会公約「こころ、あの日の不思議な緊張感を思い出す。」「どうして私は議場にいらるのだから」「どうして私に問いかけながら、対面に座す市長を見ていた。新人議員に抱く市民の期待とは、その初々しさに寄せるものか、ひた向きな「こころ」も可能性にか。

初の一般質問を終えた市職員の新人議員が、答弁した理事者(市の部長・局長)に向かって発した言葉を聞いて、私は耳を疑った。「質問はお役に立ってましたか?」議員と理事者の関係性は難しいと感じる。距離が近すぎてもいけないし、遠すぎてもいけない。市職員議員の増加を、私は前から危ぶんで来たが、やはりいな。そりゃあ、そりゃいな。慣れ合いは

禁物、しがらみは危険。理事者を誘って夜の街に繰り出す議員もいるが、それもどうなのだろう。

PDCAサイクルと3つの言葉をよび耳にする。これは、Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善)の頭文字を取ったもので、サイクルを回すことにより業務を改善していく手法だ。

市長が計画する(Plan)。市職員が実行する(Do)。議員が評価する(Check)。そう、あくまでも議員はチェック役なのだ。その上で、職員がいかなく能力を発揮できるために、時に厳しく、時に大きく見極めることが求められる。私は常々考えている。

分かります例は、市立病院の移転新築問題。市議会の建設特別委員会は、病院の赤字経営状況を全く考慮せずに、巨大病院の建設計画を承認してしまつた。家計に置き換えると、収入が少なく大赤字で借金手みれの家庭が、増収のあてもないのに新たに借金して大邸宅を建てたという。相談を受けたなら、「立派な家が良いね」ではなく、「よく考えななちや駄目」と諭すべきが人の道ではないか。

この先、人口と税収は減り続ける。立派な病院をつくれば患者が来る時代ではない、医師の確保も難しい。おまけに、松本医療圏ほや病院数の多いところはない。

市民各位には、松本市のホームページで、当時の議事録を読んでみてほしい。大きな病院の方が儲かるとか、ヘリポートも必要だとかいって珍発言が確認できる。恐らくは目先の計画に気を取られて、「医療の全体像を捉え、経営状態を踏まえて、冷静に議論する」というのを忘れてしまつたのだろう。本当に必要な医療体制、持続可能な病院について熟慮し、市長のPlanと市議員のDoをCheckするのが議員の役割だっただけである。

松本市政の舵取り役が、16年ぶりに交代した。令和2年度は、松本市にとって大変革の年となる。この歴史的な転換期に、議場に身を置く立場である重責をまねくと、私は再び緊張感に襲われる。

「情に棹せば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい」と、夏目漱石先生が嘆かれたとおひかしら。

編集後記

「市村館長は厳しけれど、本心は優しい」。酔いつぶるもその口調は奥野征勝さんが「な」なつた。清酒「寿一番星」の名づけ親で、吉村が公民館長の頃から共に地域で奮闘した、かけがえのない人だつた。▼議員とは難儀な職だ。時には孤立しても論陣を張り、時には他の議員と共闘して政策を実現していく。どちらに偏しても本意は果たせない。▼昨年末の議会で質問した中山間地の土地規制問題。吉村議員が報告の筆をとつた相手は、相続した農地の件で3年前に相談を寄せた横浜の御仁だつた。的確な言葉で率直に切り込む一方で、最後まで徹底して関わる。厳しさに裏つけられてこそ、真の優しさか。なるほどな、奥野さん。▼議員2期目、このころが見えてきたように。ある神学者の言葉を贈つて。「変な奴、自分の意見を聞き入れず冷静と、変えるべきものを変える事なく、そしてその「し」を識別する、自分の意見を知恵を、我「し」たまま」。このよよ本領発揮、頑張り! (結城マ)



▲4/14(日)～20(土)▶
松本市議選 2019



▲5/21(火) 祝・完成!
寿台公園「あずまや」



▲7/6(土) 松本市美術館
友の会「美術館で夕涼み」



▲7/27(土) 棚峯町会納涼祭
寿台太鼓連 & トリプルホワイト

吉村写真館 2019年度 春～冬



▲11/3(日・祝) まつもと市民祭
オープニング式典でテープカット



▲11/6(水) 第60回
松本城菊花展
新人賞を受賞



▲11/10(日) 母校・松本
蟻ヶ崎高校書道部
全国優勝祝賀会



▲令和2年 1/5(日) 消防出初式
観閲式 in 千歳橋



▲1/12(日) 松本あめ市
オープニング式典



▼2/26(水) 2月定例会
男性7人+吉村=8人
の最大会派「開明」